

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 16 号)

2022年 2月25日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、小型珪藻のキートセロス・リゾソレニア・レプトシリンドラス等が確認されましたが、発生量はやや少ない状況です。窒素は、明石海峡部で $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、林崎漁場～二見漁場東部の地先で概ね $3 \mu\text{g-at/L}$ 前後、沖筋で $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後、陸水等の影響が見られた地点を除き、二見漁場以西では $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。栄養塩が大阪湾漁場でも低下傾向となっているため、明石海峡部の窒素が前回よりも低下していました。

(水温) 漁場内平均 7.8°C 。昨年比 1.8°C 、平年比 1.3°C とともに低い。(塩分) 平均 31.71psu 。前回 (31.89) より 0.18psu 低い。

(珪藻)

明石海峡部～林崎漁場東部では、珪藻類はほとんど確認されない。林崎漁場西部～別府漁場では、キートセロスやリゾソレニア等が確認されるが、発生量は前回(2/15)調査から大きく変化していない。高砂漁場では、他の調査地点と比較して、レプトシリンドラスがやや多く確認された。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.1	7.8	9.1	9.6
窒素	2.4	1.6	2.5	1.6
リン	0.35	0.25	0.30	0.32

(2/15)

(2/25)

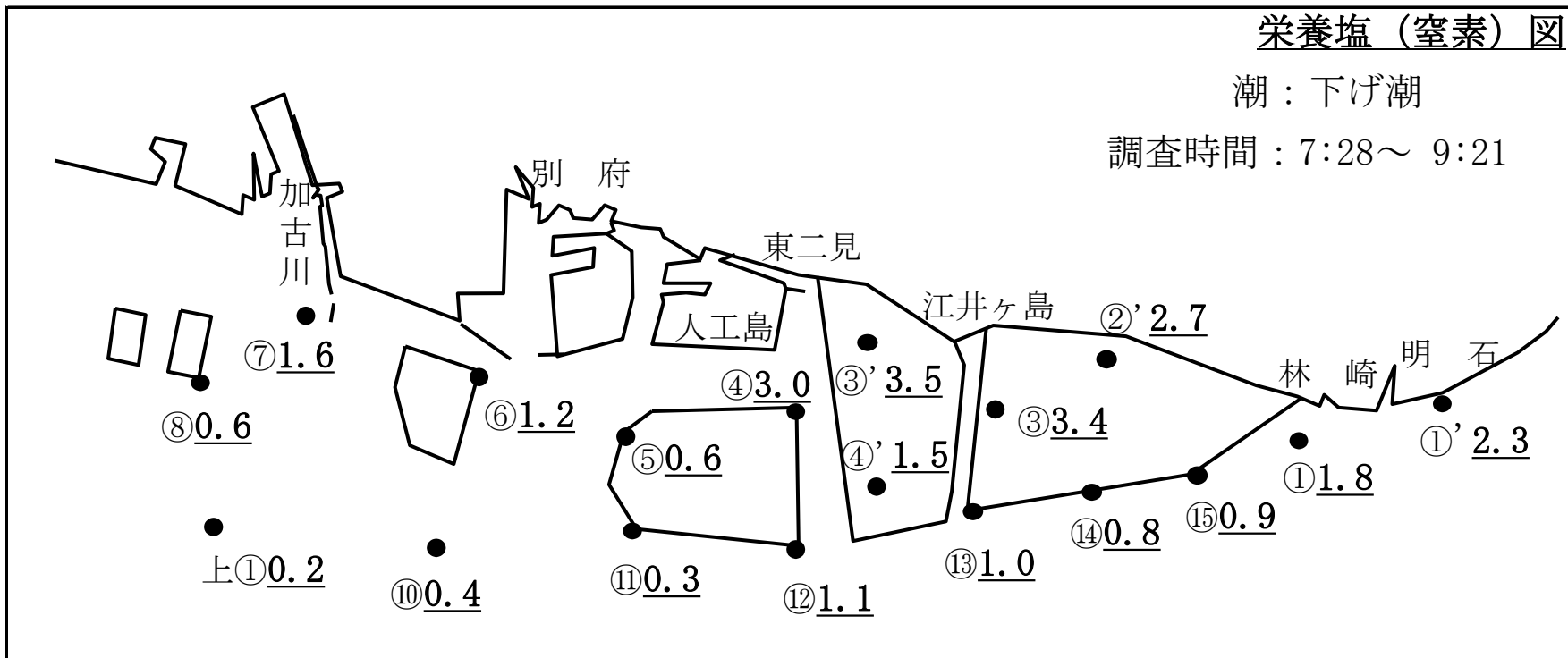
※窒素の平均は別府を除く

2022年 2月25日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:28～ 9:21



水温図

